

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	62.1	56.2	63.8	63.0	63.0	59.8

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小	5-B	6-B	7-B	5-B	6-C	6-A
埼玉県	6-C	6-A	7-A	5-B	6-C	6-A

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小		-1	2		1	2
埼玉県		0	3		1	1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
質問事項		花園小	埼玉県	花園小	埼玉県	花園小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	74.4	79.6	72.4	82.1	84.0	85.5
	・はっきりあいさつをすることができる	75.2	75.8	78.1	75.6	77.6	77.7
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	78.9	81.9	80.0	83.2	86.4	83.5
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	54.9	49.5	51.4	47.7	60.0	51.7
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	51.2	42.3	47.7	41.6	55.2	44.3
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	62.4	54.4	63.8	60.1	75.2	60.8
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	24.8	24.4	18.1	19.5	24.0	19.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	69.9	67.2	78.1	70.5	76.8	75.2
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	83.5	75.5	86.7	72.8	79.2	63.5
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	17.3	18.6	9.6	18.3	16.0	19.5
	・昨年度の算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	15.1	14.6	7.6	13.4	5.6	14.8
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	46.6	24.3	47.6	24.4	32.8	24.0
その他	・自分には、よいところがある	77.4	79.9	86.6	78.2	84	77.6
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	78.2	76.8	81	77.7	82.4	75.3
	・将来の夢や目標をもっている	88	86.9	87.6	87.3	84	81.9

【質問紙分析】

- ・「勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める」割合が県の割合と比べて高いのは、ゴールを明確にして学ぶことの大切さを指導しているからだと考えられる。
- ・「勉強は将来の進学や就職に役に立つ」割合が県の割合と比べて高いのは、道徳等の授業で、勉強することの意義を考えさせているからだと考えられる。
- ・「昨年度の国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた」割合が県と比べて低いのは、使い方について話し合う時間がもてなかったことが原因だと考えられる。そのため、今年度は市のタブレットの委嘱研究をきっかけに、研修を重ねる取組を行っている。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・ 振り返りで理解の度合いを確認したり、最後まで個々を見取ったりしたことで、結果に繋がったと考えられる。
- ・ 適時適切ところでICTを活用し、児童の興味を引いて集中させたことで、結果に繋がったと考えられる。

【国語】

- ・ 伸びが見られた国語の「書く」問題では、2年間の国語の校内研究での成果が表れた。特に、高学年については、「ワークシート（書く）」を活用したことで、書くことや書き方のコツをつかんでいったのだと考えられる。
- ・ 国語の「言葉に関する問題」に伸びが見られたのは、辞書で言葉の意味を調べさせたり言葉の意味を授業で丁寧に扱ったりして、語彙を増やすように取り組んできた結果だと考えられる。

【算数】

- ・ 算数の時間の単位の問題で伸びが見られたのは、体験的に学ばせて、身に付けさせた結果だと考えられる。
- ・ 算数のグラフから読み取る問題で伸びが見られたのは、他教科において資料やグラフから情報を得る活動を充実させる等、教科横断的に取り扱ってきた結果だと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・ 伸びが見られた国語の「書く」について、自分の考えを言葉で表す取組を教科横断的にすすめ、書く力をさらに伸ばしてしていきます。
- ・ 課題が見られた国語の読み取りでは、なぜその答えになるのか、根拠をもとに理解できるように、授業を進めていきます。また、辞書を引かせて語彙を増やすことを継続していくとともに、授業の中であらすじを理解できるように取り組んでいきます。
- ・ 課題が見られた国語の文の構成の問題では、主語・述語の意味を理解させるとともに、主語・述語等の文の構成について正しく理解できるように授業に取り入れていきます。
- ・ 伸びが見られた算数の「グラフの読み取り」について、適時適切に使えるよう他の教科の授業に取り込んでいきます。
- ・ 課題が見られた算数の平面の図形の問題では、図形の性質等について確かめ、理解が難しいときには具体物を使って考えるようにしていきます。
- ・ 課題が見られた算数では、授業で練習問題が解き終わった隙間時間などを使い、タブレットのドリルパークに取り組ませ、多くの問題に触れさせることで、知識の定着を図っていきます。また、学年間で課題を共有し、知識が身に付けられるように授業の工夫・改善を進めていきます。